

# ≪ 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 ≫

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

## 【デザイン学科】

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
上坂 恒章	デジタルデザイン I (前期)	全体評価が4.7/5であった。授業の内容をハンドアウトしているが、次年度に向けて、更にわかりやすく改善していく予定である。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
上坂 恒章	コンテンツデザイン I (前期)	3年生を対象とした授業であるので、主体性を重んじて進めた。全体評価で4.4/5と学科平均であった。次年度は、もうすこし、深めた内容に改善していきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
西田 陽二	デッサン I (前期)	デッサン(実技)未経験者が殆どであった。3時間の授業に慣れていないようにも思えたが、体力も含めて対応できるようにして欲しい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
西田 陽二	絵画 I (前期)	基礎を学ぶことがその後のすべての造形に繋がる。受身ではなく自らが作り上げる体質を目指して欲しい。

## ≪ 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 ≫

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
西田 陽二	デッサンⅢ(前期)	学生によって習熟度の違いがあるので、それぞれに対応した指導を心がけたいと思う。 また、難易度が高い課題内容に対応出来る学生も現れてきたことは喜ばしいが、完成がないことを自覚してこれからも探求する姿勢を続けて欲しい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
林 春生	美術学特講Ⅲ(前期)	シラバスの説明を明確に行う。 学生のレベルに合わせて、授業内容を変化、対応する。 (各学生に課題や作品制作の為の場所、机等を提供してあげたい。)

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
安田 祐造	洋画Ⅰ(前期)	高い評価をいただけたようですが、受講生の積極性をいかに高めるかが課題です。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
安田 祐造	技法・材料研究Ⅰ(前期)	洋画Ⅰと同様ですが、美術の良さをさらに理解してもらえるように努めたいと思います。

# 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
松岡 龍介	造形論 I (2Q)	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身に付けてほしい、知識や見方、感じ方について、毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が”まとめ”る力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本学科を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
松岡 龍介	図学 I (前期)	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員(工芸)の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための製図表現などにも応用してゆく「図による表現」の基礎となるものです。誰にでも判りやすい内容で、クラスの進度に合わせて基本的な作図を学ぶ内容です。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
松岡 龍介	デザイン製図 I (1Q)	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員(工芸)の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための「最初の製図表現」の科目です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、クラスの進度に合わせて基本的な内容を学びます。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
松岡 龍介	インテリアデザイン I (1Q)	昨年まで、デザイン学科開講科目であった。今年度より、建築学科開講科目に変更になり、科目の目標について、しっかり示すことが重要だと思った。

# 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
宮嶋 達也	基礎英語 I (1Q)	授業進度の改善が求められる。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
梅田 力	立体構成 I (前期)	昨年度は課題量が多すぎるとの指摘がされたので、授業計画時から改善した。その結果、昨年より良い回答をもらうことができた。資料をもっと充実させてほしいとのことなので、パワーポイント等IT機器も取り入れながら、充実させていきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
梅田 力	彫刻 I (前期)	全体評価は平均的に概ね良好だったが、満足度が比較的低かった。講義の内容をもっと興味のあるものに変え、難易度についても再検討し、より達成感の得られるものへ変更していきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
三上 いずみ	キャラクターデザイン I (2Q)	いくつかの公募の中から一つ以上を選択し応募するという課題を設定した。入選に向けてどのようにアプローチしていくかを個人ごとに打合せしながら進めた。アンケートの結果は平均4.8と高かったが、デザイン練習を目的とした課題を望む声もあったので考慮したい。

## 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
三上 はずみ	テキスタイルデザイン I (前期)	課題であった時間配分も改善されてきたようで授業スキル平均値は5.0であった。しかし履修人数が一定数を超えると資材の関係上作業が滞ることもあるのでスムーズかつ理解しやすい授業の進め方をこれからも追求したい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
三上 はずみ	漫画 I (前期)	基礎技術に重点を置き無理のないペースで進めた。習得させることはなかなか難しいが、新しい知識と技術の向上にはつながったように思う。教室内が暑く、原稿に汗を垂らしながらの作業になることもあった。なんとか改善したい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
五十嵐 由美子 三上 はずみ	漫画Ⅲ(前期)	根気のいる課題もいくつかあったが、興味・関心を持って取り組んでいた。ネームから漫画完成までは個別対応で打ち合わせを重ね、表現方法をそれぞれが模索した。画力と構図の向上のためクロッキーを行い多少の効果はあったが、引き続きの課題である。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
國松 明日香	彫刻Ⅲ(前期)	準備学習と事後学習について理解度が足りない部分があった様なので、オリエンテーション時の説明を改善しなければならない。授業全体を通しての満足度は、ほぼ良好なので、課題については継続していきたいと思う。

# 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
佐藤 正人	イラストレーション基礎 I (前期)	生徒達に興味・関心を持ってもらえ全体的に満足してもらえる授業となったのは良く、次年度にも活かしていきたいものです。 更にイラストレーションに興味を持ってもらいたいものです。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
佐藤 正人	イラストレーションⅢ(前期)	授業内容や進め方も生徒達の満足が得られ良かったので次年度シラバス作成にも役立てていきたいものです。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
田中 靖之	ビジュアルデザイン I (前期)	授業に対する「準備学習」及び「事後学習」の実施が課題と感じた。いわゆる「予習・復習」ではなく、課題と連動した内容を吟味すべきと思うので改善していきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
田中 靖之	ビジュアルデザイン II (前期)	学生の一部からの意見もあったが、演習授業は20名前後が適正と考える。特にビジュアルデザイン II は個々によってテーマが変化するので個別アドバイスの時間を確保していきたい。

## 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
岡 恵子	日本画 I (前期)	相変わらず学生の出席率や授業への参加姿勢は高く積極的である。シラバスの理解も浸透して来ている。 日本画の画材は、経験者にとっても扱いが難しい中、よく習得に励んでいる。より一層理解が深まるよう繰り返し指導したい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
森迫 暁夫	イラストレーション I (前期)	課題はカリキュラムに沿って行いますが、毎年学生は変わるので、様子を見て課題を変化、追加しています。今年予定を変更し、体験型の単発の課題をいくつか行ったのですが、学生にとって有意義なものになったらしく、次年度も考えたいと思いました。達成度の向上に努めていきたいです。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
森迫 暁夫	版表現 I (前期)	版が自身の制作につながってゆくように努めていますが、なかなか実践でそういう場面に出会えません。技術を伝えながら、もう少し具体的に実践的な授業になるように考えたいと思います。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
星 信彦	工芸実習Ⅲ(前期)	学生の作業スピード差を埋めることに配慮しておりますが、集中力が続くよう指導していきます。



# 《 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 》

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
中島 知之	工芸実習Ⅲ(陶)(前期)	前期の工芸実習は学生の多くが前年度から引き続き受講したためより高い工芸技術習得を目指した。その結果、各学生の技術、理解に少し差が出た様感じた。今後、アンケートの結果を踏まえ、各学生とよりコミュニケーションをとり、より丁寧な指導方法を考えたい。そして、学生たちの制作意欲を高めるような環境を作り上げていきたい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
宮原 ミユキ	工芸実習Ⅰ(織)(前期)	履修した学生のほとんどが興味・関心と熱意を持って取り組み、織について理解し、満足度も高いという結果につきましては、今後も引き続き努力を続けて参ります。尚、準備学習・事後学習について、「知らなかった」という回答があり、指導の改善に努めます。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
金子 敏也	美術史概論Ⅰ(1Q)	過去の歴史的事実、先人たちの作品をどのように自分の今後の制作に生かせるかを考える機会として下さい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた、教員コメント(200字以内)
金子 敏也	西洋美術史Ⅰ(2Q)	過去の作品を見ると、自分の現在の作品に生かせるかどうかという視点で考えるなら、興味を持てるようになると思います。



# ≪ 令和元年度前期 授業改善アンケート集計報告後教員コメント一覧 ≫

第1クォーター：令和元年 6月 4日(火)～ 10日(月)の期間実施

第2クォーター：令和元年 8月 1日(木)～ 7日(水)の期間実施

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
金子 敏也	東洋・日本美術史 I (1Q)	自分の作品が、日本の伝統の中でどのように位置づけられるかを考えながら、日本美術を学んで下さい。

担当教員名	科目名	授業改善アンケートの結果を受けた, 教員コメント(200字以内)
山腰 雅樹	美術学特講 I・III・IV (2Q)	性質上、短期で理解を深めてもらうことがなかなか難しいと思っています。より興味・関心・おもしろさを感じてもらえるようなカリキュラムを考え、実践していくことで改善を図れる点がありそうですので理解度改善に努めていきたいと思っています。